



第16回 地区野球大会報告

2010年10月15～17日

今大会は、宇都宮陽北ロータリークラブがホスト役ということで、長会員の大会への「イレコミ」は、並々ならぬものがあった。布陣は、実行委員長に高橋和夫会員、副実行委員長に浜野弘会員、実行幹事として、長正英会員が名を連ねたが、大会に向けての下準備は早々と且つ入念に段取りされたのである。「会員全員の協力がなければ大会は成功しません」が長会員の口癖であった。

前夜祭は、宇都宮陽北ロータリークラブの例会場のベルヴィ宇都宮の4階スペースで、10月15日の夕刻より行われた。「100年に1度の不景気」といわれている今なお躍進を続けている「アルファクラブ」が、次々とリニューアル劇を展開している、ベルヴィ宇都宮のその会場はテレビのドラマに登場するような豪華絢爛さで、各地区のメンバーを出迎えたのである。瀬下龍夫ガバナー、稲木義友大会会長等々をおむかえし、セレモニーは厳かに始まった。

乾杯の音頭が済むと、音楽が高鳴り何事が始まるのか、と思いきや、目も眩むばかりのチアガールが踊りながらメインステージに登場したのだ。それまで神妙な面持ちであった面々は一気にしかも爆発的にリラックスモードになっていった。

10月17日(日)の大会は、清原球場と宮原球場の二会場に分かれて、9時より試合が行われた。清原球場(B)は現在照明が修理中でナイターは無理なので5チームでの戦い、宮原球場(A)はナイターOKということで6チームでの戦いであった。Bブロックでは、宇都宮西(大会会長所属)が真岡に5回裏に6点差を跳ね返されての大逆転負けを喫するという大波乱の幕開けとなった。決勝は、鹿沼東と宇都宮90の好ゲームで相譲らず互いの好投で〇行進が続いたが最終回の裏、宇都宮90の高岸伸二投手(45歳)が自らのバットで外野オーバーのヒットを放ち、決着をつけるという何か少年ジャンプのような「こんなことが実際にあるんかい!」というような劇的な試合だった。

宮原球場では、昨年日本一の鹿沼RCと我が宇都宮陽北との決勝がナイターで行われた。こちらも息づまる投手戦で相譲らず展開となり、特にお互いの好守備が目立ったと思う。鹿沼としてはヒット性のアタリがことごとくアウトになってしまい、スクイズで1点を守ったが、打線がいまいちつながらなかったか、という感じだった。こちらも地区大会の歴史に残る試合だったと言える。



「来年は優勝しかないな」と呟きながら、宇都宮陽北の面々は、真っ暗となった球場を去って行った……。

野球をやっているロータリー会員達は、体はメタボで「紅の豚」みたいですが、みんな少年のように楽しんでいるんだなあ～、というのが感想です。

記 薄久保 仁司 (宇都宮陽北RC幹事)



より柔軟に、より大胆に

ガバナー 瀬下 龍夫

11月17日、無事公式訪問を終了。9月下旬から本格的に訪問したが、ピッチを速めるため、地区大会後は老骨に鞭打ち、ペースを週4日に上げる。

“今までで最高であった”“出席しなかった人は大損しましたね”などと地区大会についてお褒めの言葉を戴くと、壬生で開催し本当によかったと思う。何度も出席しておられるチャーター・メンバーから、そのような感想を戴いた時には胸にジンとくる。大会のあり方を“大胆”に変革したからであろう。従来のやり方を変えるには勇気がいります。でも、前例踏襲では形式的に落ち入りがちです。午後、大勢の会員が帰ってしまうのはそのいい例でしょう。参加者を感動させられないはずはない。そのためにはいろいろなことを考えました。小さなクラブですから何ができるか危ぶむ方がいたのも事実です。変革したお陰でクラブにも自信ができました。会員数が少ないからガバナーを輩出できないという理由はこれで使えなくなるでしょう。さらに、他のクラブのやる気にも火を点けたようです。おかげで、その後の公式訪問もより盛り上がる。大会の効き目がこんなにするとは想像だにできなかった。“親睦”も深まり、第2550地区が、あたかも単一のクラブのように結束できたのではないかと。Fellowshipの絆もこの上なく強まったと断言できよう。

昔は村がコミュニティの役割をはたしていました。今こそロータリアンがそれをはたすべきではないでしょうか。“地域を育む”とはまさにそういうことなのでしょう。地区大会を成功させたので、それができると信じられるのです。

会長・幹事との懇談会も本音で話しあうと、見えなかったことも見えてくる。有意義な双方向コミュニケーションができた嬉しくなる。小職の一人よがりではなからう。

会長・幹事さんともなれば、ロータリーのことは先刻ご承知のはず。そこで、会員増強など切実な問題は、視点を変え、ドラッカーの理論などを引用しながら、話し合った。

前半に公式訪問したクラブではこの本は紹介しなかったもので、ここに記述しておく。「もし高校野球部の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」(岩崎夏海著、ダイヤモンド社発行)である。経営学など縁のない人にも面白く読めよう。何より具体的なので説得力がある。野球部のところをロータリーに置き換え、野球部員をロータリアンと読んでいただければ、ロータリアンにとって参考になるのは間違いない。たとえば、出席率の悪い会員対策などに最適です。ロータリーは何のためにあるのかなど徹底的に考え、議論すればクラブも活性化します。2550地区の諸問題点解決にもピッタリといえましょう。同時に、あなたの事業にも役立ちます。

組織にとって重要なのは人でしょう。その人から意欲を引き出す方法なども、ヴィヴィッドに書かれています。ロータリーの縦割体制は残念ながら制度疲労を起こしているのではないのでしょうか。それを打ち破るのは、上意下達ではなく、地域社会にしっかり足を着け、地元合った



平成22年度 ロータリー米山記念奨学会 北関東学友会栃木支部総会研修旅行報告

米山学友委員会委員長 恩 田 光 憲
(宇都宮西)

クラブ作りや運営が必要なのです。その改善の一案として、縦割り組織に横串を通す方法なども上手に描写されています。

意欲的な若手を入会させた真岡ロータリー・クラブでは、毎年続々と新会員が加入しております。どうして会員増強できたのかを伺うと、この本の記述に似ていることが、なされているのに驚きました。

例会卓話では、R Iの“長期計画”を中心にお話ししました。各クラブで一番若い方に、パワーポイントのテロップを読んでもらうなど、彼らの記憶に残るような配慮もしました。人材育成には相手に関心を持つことが重要です。小職の意図するところを理解していただければ幸いです。“リーダー”は短期間では育ちません。時間をかけてください。“長期計画”が必要なゆえんです。若くしてロータリーに入会された方は、意欲のある人でしょう。未来のために、みんなで彼らを育てましょう。

会長が変わっただけで、クラブの雰囲気もがらりと変わることも実感しました。職業奉仕の卓話で訪問したときとは、まるで違う印象を受けたクラブがありました。クラブの活性化も、会長が変わるだけでこうも変わるのか、信じられないくらいです。あなたも変えられるのです。



ローターアクトも、PETSのときのアンケートでは関心が薄かったですが、その後、意欲的な会長が出て、新しいクラブも生まれようとしています。委員長をはじめ、ご努力されている関係各位に、ここで感謝申し上げます。従来の考えにとらわれず、チャレンジしたから、可能になったのでしょうか。

発想の転換をしたから、できたのです。これを当地区の大きな変化の始まりにしたいものです。そうでなければ、ロータリー存続の危機を乗り越えられません。

会長がその気になれば、かなりのことができるよい例でしょう。上半期も過ぎようとしています。助走はもう十分でしょう。ここで次年度の空に向け、高く雄飛してください。

公式訪問時には皆さんの熱意に打たれました。小生の説明もこれまで以上に力が入りました。その時の熱意をさらに盛り上げ、持続してください。“念じ、信じてやれば、必ずできます”。

クラブ協議会も単なる報告会から、真の協議をする場が変わったと言ってくくださる方もたくさんおりました。私の意図を理解して、地ならしをして下さったガバナー補佐のみなさんのお陰です。ここに深謝申し上げます。



この改革を一過性のものとせず、常態にするには、これからも時代に合わせ、継続的に変革を続ける必要があります。組織の存続には、それが必要不可欠なのです。手を抜いたら元の木阿弥になります。革新なくして成長なしと年度初めに申し上げた通りです。

意見の対立を恐れず、口から出してください。同時に、ロータリーの“中核となる価値観”である“多様性”にも思いをはせてください。それが分裂を防ぎ、解決に繋がるのです。

ガバナー補佐のみなさん、クラブを暖かく見守り、ご支援願います。そして次のガバナー補佐にそれをバトン・タッチしましょう。

各クラブとも真摯に考え、活動してくれる方が多くいることに深い感銘を受けました。それになぜ地域社会に、その成果が現れないのか不思議に感じました。広報の大切さを痛感させられた次第です。小クラブが多い当地区では、各クラブに専門知識をもった広報マン育てるのは容易ではありません。地区に広報の指導をできる人材を育てる必要を痛感しました。

TPPに加入すれば、農業関連生産額の多き当地区も、いろいろな面で大きな打撃をうけましょう。今から手を打たないと、大変なことになるかもしれません。

クラブを“柔軟にし、刷新を”続けてまいりましょう。

米山学友会栃木支部の総会・研修旅行が平成22年10月11日～12日に行われました。

今年は、米山梅吉記念館の訪問、米山梅吉翁の墓参を中心とした研修旅行となりました。参加者は、11名の学友、11名の現奨学生、家族とロータリアン4名を含め総勢48名で、大型バスいっぱいです。東京方面からの参加者もおりましたが、朝8時のJR宇都宮駅に全員定刻通り集合し時間通りの出発となりました。

米山梅吉記念館の見学ということもあり、記念館の理事であり、米山記念奨学会の理事長の板橋敏雄様（足利東RC）が、一緒にご参加下さいました。行きのバスの中で、板橋理事長から、米山奨学制度や学友会、中国の学友会の発足のこと、また米山梅吉翁についてなど、色々なことを詳細に分かりやすくご説明頂きました。参加者一同、米山の理解と共にこれから訪問する記念館に関する大変ためになる予備知識となりました。

記念館では、約1時間半の時間を取り、記念館の方に説明をしていただきながらゆっくりと見学いたしました。梅吉翁の生い立ち、人生における様々なこと、数々の社会奉仕活動について、ロータリーへの貢献の様子、遺品などを見ながら、一同真剣に説明を聞き、偉徳を偲ぶことができました。

記念館見学の後は梅吉翁の墓前で全員が合掌、献花をしてまいりました。

夜は、伊豆の熱川温泉の「志なよし」という旅館泊です。夕食前に総会が開催されました。今年度は役員改選の年で、会長以下2名の理事、監事が再選され、副会長と3名の理事、監事が新しく選ばれました。会務報告は、今年は壬生の地区大会で募金活動を行い皆様のご協力

19万円が集まりその半額を米山奨学会に特別寄付したこと、またホームページを新たに作成したことなどが報告されました。これまでになく学友会の積極的な活動が目立ち、総会終了後の新役員の相談会でも更なる活動の決意が感じられました。

懇親会は、関谷直人元米山委員長（西那須野RC）の乾杯の音頭で始まり、家族ごとに全員自己紹介を行いました。国を超えて肩を組み合わせ、記念写真を撮ったり、歌を歌ったり、短い時間でしたが楽しく過ごしました。



12日は雲ひとつない快晴の中、海平線に、日の出を見ながらの始まりです。伊豆の自然に触れる一日という計画です。

城ヶ崎海岸では片道30～40分歩きましたが、柱状理の岩肌、吊り橋から見下ろす入江のエメラルド色の海水を見、暑さ、疲れも吹き飛ばすほどでした。大室山の頂上からの絶景、初めてリフトに乗る人が多かったせいか、これも大感激でした。シャボテン公園で昼食を取り、小田原の鈴廣に立ちよりかまぼこのお土産を買いました。そこで東京方面の人達と別れ、帰途につきました。渋滞で到着は深夜になってしまいましたが、全員元気で到着しました。

ガバナー公式訪問たより

※ガバナー公式訪問たよりの掲載が、編集の都合により前後することがありますので、ご了承下さい。

足利ロータリー・クラブ

例会日 平成22年9月17日

会長 殿岡 捷男 幹事 柳川 英一

9月17日(金)、瀬下ガバナー、長谷川ガバナー補佐、壬生RCから茂櫛会長、高山副幹事をお迎えして、蓮袋館で公式訪問を実施しました。

11時より、ガバナー補佐の司会進行により、会長幹事懇談会を開催しました。和やかな雰囲気の中、ガバナー自身のいろいろなお話や「四つのテスト」の話など、職業奉仕の実践についてガバナーの考えをお聞きしました。また、現況報告書に関しましては、素晴らしい報告書であるとお誉めの言葉を頂きました。個人情報保護に対する対策など、幾つかのご指摘を頂いたことは、今後の現況報告書作りに反映させていただきます。

例会においては、ガバナーの記念卓話を頂きました。ロータリー長期計画を話され、ロータリーのビジョンなど大切なそして大事な部分について、解り易く説明して頂きました。例会後のクラブ協議会においては、各委員長から当クラブの特徴ある活動を中心に報告をしました。特に職業奉仕での高校生への進路指導講話、社会奉仕での幼稚園の親子参加の凧上げ大会、また例会では毎回ピアノの生演奏があるなど、クラブ活動の紹介をしました。ガバナーより総括して頂き協議会を終了しました。

瀬下ガバナー公式訪問で得た多くのものを、今後のクラブ運営に活かしていければと思います。



鹿沼中央ロータリー・クラブ

例会日 平成22年9月21日

会長 片柳 伸一 幹事 黒川 英一

9月21日(火)、当クラブ例会場八百半本社3階会議室に於いて瀬下龍夫ガバナー、大出孝三郎ガバナー補佐、随員員の壬生ロータリークラブ会長茂櫛正明様3名をお迎えして、午前11時より懇談会が始まり、片柳会長、植野会長エレクト、吉澤情報委員長、黒川幹事、齋藤副幹事5名により開催され、瀬下ガバナーより現況報告書の定款、細則、理事者の数等、変更、見直しが必要と指摘、指導をいただきました。その後大出ガバナー補佐より感想をいただき、一端休憩をとり、12時30分より例会開始、点鐘、ロータリーソング斉唱、昼食、その後瀬下ガバナーより講話をいただき、記念写真撮影、その後炉辺会合に入り、昨年は青少年交換でフランスから女学生アナイス・ヴェルデリさんを交換留学生として受け入れ、クラブ・ホストファミリーに献身的奉仕におほめをいただき片柳会長のテーマ「助け合いの心」をもってこれからのクラブ活動を運営していきたいと思えます。

瀬下ガバナー有難うございました。



宇都宮東ロータリー・クラブ

例会日 平成22年9月28日

会長 太城 敏之 幹事 倉井 章

2550地区、地区大会終了後初の公式訪問として瀬下ガバナーをお迎えしました。午前10時30分に例会場のホテルにお着になり、当クラブの50周年記念事業の会場である「田川」の植栽をご覧頂きました。

その後ホテルにて、ガバナー、ガバナー補佐を囲み懇談会を開催しました。12時30分より会員一同の拍手に迎えられ例会を開始し、本日入会の齋藤秀明氏・手塚正智氏の2名の会員へ、ガバナーよりバッジの授与を頂きました。

卓話では国際ロータリー長期計画の中から「中核となる価値観」奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップについてお話を頂きました。

その後記念写真を経て、1時45分～3時15分までクラブ協議会を行いました。

当クラブは今年度創立50周年を迎え、その記念事業として「田川いきいき計画」を企画・実行し、この事業を通して意義ある業績賞を目指している旨の説明を致しました。

クラブ運営・クラブ奉仕・会員組織・親睦の各委員長から説明があり、クラブの活性化の為、会員増強とクラブ内に趣味のクラブを作り退会防止を図る内容の説明をさせて頂きました。

奉仕委員会においては、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕からRI会長賞の質問内容についての発言、そして、新世代委員会からローターアクトについて説明があり、その後、瀬下ガバナーから講評を頂きました。

これから、地区内のクラブの公式訪問が無事終了なされる事をご祈念申し上げて、報告を終わらせて頂きます。



益子ロータリー・クラブ

例会日 平成22年9月29日

会長 藤原 郁三 幹事 佐藤 広志

9月29日(水)に瀬下ガバナーをお迎えして、公式訪問無事終了しました。

私はこの日の会長挨拶で、瀬下ガバナーは異色のガバナーだと紹介しましたが、まさにその通りでした。大変エネルギー感の方で、勢いを感じられました。そして、お話の切り口がとても斬新で、一瞬唐突ではないかと思えるような例を引用されるので、つい引き込まれてしまいます。その連続でしたので、あっという間に3時間半が過ぎてしまいました。でも結局は煙に巻かれたような気が…。しかしながら、現況報告書は実に詳しく読んでおられチェックして頂きました。米山の寄付など解りにくくて、意外に気付かない間違いを明確に指摘して頂いたので、早速次には修正したいと思います。

逆に私達の活動については、いくつか評価して頂きました。私達はコーヒープレイクという時間を毎月1回例会で設けています。卓話のない日にしてコーヒを飲みながら会員同士が自由に談笑する機会にしていますが、お互い本音で付き合えるロータリアンになっていく為にも素晴らしいアイデアだと言って頂きました。

又、新人会員の入会手続きの方法を誰でもすぐ解るように図表にしている点や、ロータリー細則の文章が正確である点についてもほめて頂きました。

私達のクラブは会員増強が最大の課題であり、是非女性会員を入れたいと思っていますが、意外に女性会員を入れるのは難しいですよという事で、その為の心構えも教えて頂きました。

いずれにせよ、常に楽しいロータリー活動になる事が一番大切だという事で、堅苦しい内容の話は最小限にとどめておこうという、ガバナーの心遣いを感じられた公式訪問でした。この日学んだ事を今後の活動に生かしていきたいと思えます。瀬下ガバナーありがとうございました。



地区大会が終わり大変お疲れの中、瀬下ガバナーにお出で頂き大変ありがとうございました。ガバナーにはお疲れの様子もなく、定刻より早くお着きになり、積極的にご指導頂きました。

会長・幹事会では職業奉仕と倫理について矢嶋ガバナー補佐を交え厚く語られ、会員減少の原因分析と増強方法についてご指導頂き、現況報告書の個人情報管理についてご指摘頂きましたので、管理処分方法を協議したいと考えております。

卓話では、ロータリー手帳の中にあるビジョン（標語・超我の奉仕）について新入会員に直接朗読させる場面を作り、クラブの刷新性と柔軟性の必要性やロータリアンとしての中核となる価値観の推進と親睦とは同じ価値観を持つことの意義、ロータリアンとして高潔性が必要であり、同時に職業奉仕に通じる事をお話され、実に中身の濃い卓話でした。

最後の報告となりますが、クラブ協議会は矢嶋ガバナー補佐との打合せで事前に用意した質問事項（3点）について路辺会議方式で行いました。クラブの質問事項は、①WCSの提供 ②職業奉仕 ③会員増強についての車座討議でしたが、職業奉仕はガバナーが最も重要視する課題でしたので、シェルドンの職業奉仕理念を含め四つのテストと照らし合わせての解釈について多くの時間を費やしました。ガバナーの will it be BENEFICIAL to all concerned? の説明解釈について会員からは自然界を含めた有益性や思っているなどの意見や会員同士の職業情報交換、本業を通しての相互協力も積極的に行うべきとの意見があり、非常に盛り上がり、時間内に終了させるのにSAAも大変苦労したようです。瀬下ガバナーの接しやすいお人柄と、職業奉仕を職業倫理と考え倫理への追究心に感動しました。



平成22年10月6日(水)瀬下龍夫ガバナー、小野田裕ガバナー補佐、茂木宏之地区会計長をお迎えして、割烹石山にて公式訪問が行われました。

午前11時より、当クラブより高木慶一会長、村山茂幹事、半田久一バスターガバナー、檜山達郎会長ノミニ、秋間忍副会長出席のもと懇談会が開催されました。瀬下ガバナーは当クラブの現況報告書を熟読されており、会員歴代所属委員会表などは、正確性を確保するために、データベース化して現況報告書を作成していることに対しお褒めの言葉を戴く一方、クラブ細則の誤り等をご指摘ご指導戴くなど、和やかな内にもやや緊張する場面もございました。

懇談会終了後、当クラブ例会場にご移動願ひ、瀬下ガバナーには、クラブ例会の全てを見て戴こうという考えのもと、会員と一緒に食事をしていただきました。例会も何の脚色もせず、10月最初の例会だったので、誕生祝い、結婚祝いの報告。アジア学院で研修中の米山奨学生（4カ国4名）の紹介。15年を数える芋煮会で余ったお酒を、オークションで現金化し、スマイルボックスに入金したりなど、普段の例会の様子をつぶさに見て戴きました。

そして、ガバナー卓話では、今年度より新たに定められた2010-2013年度RI長期計画の内容について、パワーポイントを使い詳細かつ具体的なお話を戴きました。中でも、職業奉仕の重要性と長期ビジョンに立ったリーダーの育成方法などは、示唆に富み大変感銘を受けた次第です。

例会終了後会場を移し、記念写真撮影を行い、引続きクラブ協議会を開催し、当クラブ全委員会の活動計画等に対し、瀬下ガバナーからそれぞれご指摘ご指導を戴くなど、長時間にわたり精力的にご鞭撻賜り公式訪問は終了いたしました。



10月7日日光金谷ホテルに、瀬下龍夫ガバナーを公式訪問としてお迎えしました。到着後しばし休憩の後、3階会議室で瀬下ガバナーを囲み、早速懇談会を開催しました。先ず高井会長より、現況報告書によりクラブの実績報告がなされ、これに基づいて瀬下ガバナーより、定款及び細則と現況報告書の削除と訂正の指導がありました。よってこの後理事会を招集し、修正を行う事にしました。

続いて12時30分より例会場に、瀬下ガバナーを拍手でお迎えして例会を開始しました。点鐘後高井会長より歓迎挨拶とゲストの紹介があり、バナーの交換を行ってから、瀬下ガバナーの卓話を頂戴した次第であります。プロジェクターを使ってのお話では、2010～13年度国際ロータリーの長期計画がわかりやすく説明され、ついで話された職業奉仕活動こそロータリーの原点であるという理念の説明では、会員一同共感を感じると共に決意を新たにされた次第であります。例会後は記念撮影をしてから、会場を新食堂に移し、炉辺会議の形でクラブ協議会に入りました。「会員増強をどのように進めるか」がこの協議会の課題でしたが、瀬下ガバナーの冒頭の問題対処法や行動の起こし方の概要説明が伝わって、会員からは提言や意見が数多く出されました。そして「腕を拱いているのは消滅に繋がる。先ず行動せよ。あらゆる可能性を探して増強に挑もう」と総評を頂戴しました。このように当日は、有意義な公式訪問が終了した次第であります。



矢板・氏家とも設立以来初めての、合同でのガバナー公式訪問となりました。

瀬下ガバナーはじめ、菅野ガバナー補佐、壬生クラブの茂櫛会長、黒川副会長をお迎えしての、充実した例会となりました。

ガバナーを囲んでの会長幹事会では、矢板・氏家両クラブの問題点、悩みなどをお聞きいただき、的確なアドバイスを頂戴できました。ロータリークラブの真髓と、残さねばならない伝統、そして、時代の変化とともに、変えなければならない部分。今後のクラブ運営に必要不可欠のヒントを数多く発見することができ、充実したひと時でした。欲を言えば、もう少し時間がほしかったところです。

例会では、パソコンを使ったプレゼンテーション。ガバナーの軽快な口調で、ロータリークラブの長期計画を学びました。続く協議会では、氏家から広報（情報）常任委員長小山研一君、奉仕プロジェクト常任委員長長島久登君、会員組織常任委員長吉成容一君、矢板より会員組織常任委員長石井侑男君、ロータリー財団・米山記念奨学会常任委員長小堀幸栄君の5名から、各委員会の活動報告や、問題点、疑問点を提示し、ガバナーよりアドバイスを頂きました。短い時間ではありましたが、地区大会同様、実のある素晴らしい例会となりました。全会員、忘れることのできない、心に残る一日となりました。



平成 22 年 10 月 13 日（水）東雲ゴルフクラブにおいて、瀬下龍夫ガバナー、壬生ロータリークラブ地区会計長茂木宏之様をお迎えして、高根沢・烏山ロータリークラブ合同でのガバナー公式訪問が行われました。2週間前、烏山・高根沢ロータリークラブ合同例会においてガバナー補佐菅野進一様の懇切丁寧な指導もあり、ガバナー公式訪問が和やかな雰囲気の中始まりました。

早速、瀬下ガバナーを囲み午前 11 時より高根沢・烏山両クラブの会長、幹事が現況報告書を元に指導を受けました。いくつかの指摘を受けましたがおおよそ結構ですと言われました。

例会では瀬下ガバナーより 2010～13 年度国際ロータリー長期計画について卓話を頂き今後のクラブ運営に役立てたいと思います。例会後のクラブ協議会では「小クラブの今後」と題して意見交換、又、瀬下がバナーより実例をいくつか出して頂き小クラブの良さについても指導されました。

最後にガバナーによる総評があり、長い 1 日が終わりました。烏山ロータリークラブの皆さんご協力有難うございました。高根沢ロータリークラブの皆さん「前進」のみです。宜しくお願いします。



10月14日（木）に真岡ロータリークラブのガバナー公式訪問は、瀬下龍夫ガバナー・杉山ガバナー補佐・刀川地区幹事をお迎えして、真岡商工会議所にて実施されました。

午前中の懇談会では、竹石会長により当クラブの現況報告書の説明があり、それについての、瀬下ガバナーよりの、適切なアドバイス等頂きました杉山ガバナー補佐が当クラブの会員であるため、和やかな雰囲気の中開催されました。

例会に於いては瀬下ガバナーより国際ロータリーの長期計画（ビジョン・中核となる価値観）等について、プロジェクターを使用され又当クラブ会員にも言葉を掛けられたりロータリークラブ歴の浅い会員でも、分かりやすい言葉で丁寧に説明されましたので当クラブの多くの会員が理解された事と思われます。

その後行われたクラブ協議会では、五大委員長による本年度の活動・目標を熱く説明され、それに対する瀬下ガバナーよりの、的確なアドバイス・改善点などをご指導頂きましたので、早速今後のロータリー活動に活かしたいと思ひます。

最後に社会奉仕委員会より、当クラブの重点事業の一つである真岡市老人・身障者スポーツ大会への補助金のお礼を申しのべた。

瀬下ガバナー様に於いては、健康に十分に留意され、益々活躍されることを、ご祈念申し上げます。



瀬下龍夫ガバナーと地区大会



国際ロータリー第2550地区

地区幹事 刀川 清 満
(壬生)

瀬下龍夫ガバナーについて、一言で申しますと小粒でありながら、想像以上のパワーをもっていて表に現れぬものをもっております。性格は、お人好し、何事も断ることをできぬ良い欠点の持主です。生まれは、横浜の浜っ子で仕事の都合により壬生町に住み、壬生町のおいしい土に培り町民として現在に至っております。仕事は現在会長職として、部下にまかせてロータリー一筋に活躍しております。

さて、先般9月25日に会長・幹事・地区指導者育成セミナーに於いてR I 会長代理道下俊一（北海道）先生を迎え、講演に、瀬下ガバナー自ら「成功へ倫理道」を、約2時間勉強会を行いました。

終了後、国際ロータリー会長代理道下俊一先生ウェルカムパーティーを、宇都宮グランドホテルに於いて240名の参加をいただき、会場中央に宇都宮ジャズバンド演奏を行い盛り上げました。

さて、9月26日日本会議は、会場壬生町中央公民館に於いて開催、この日の天候は、この秋一番の晴天に恵まれました。

本会議の内容、裏舞台の苦勞しましたこと諸々ございました。

私は、SAAの役をつとめさせて頂きました。客席ではわからぬ事が沢山ありました。

まず、午前9時私がSAAの挨拶のとき会場1,000名のなか一番前に、小菅一弥壬生町長様、森田益夫副町長様、落合範子教育長様、壬生町三役ご参会いただいている様子が目に入り、原稿になかったのですが、つい自らうれしく感激し、この事を紹介申し上げました。

松本幸三大会顧問より開会のことば、瀬下龍夫ガバナー点鐘、国歌斉唱、ロータリーソング、物故会員（11名）に黙禱致しました。続いて、安楽之孝大会実行委員長歓迎のことば、パストガバナー石原敬士R I 会長代理紹介迄は、確実に段取り通りの進行でした。

まもなく、目録贈呈、記念品贈呈プレゼンターは、壬生町ボーイスカウト、カブスカウトです。午前の部の贈りもの11品です。3品不足です。又、5分前知事さんの挨拶等の変更の打合せ、司会者原稿通りに進めているだけ、以前にSAAとの打合せがありませんでした。司会者とSAAは常に

左側と右側の舞台ですので、連絡が取れないのが苦痛でした。

1分前、福田富一知事さんに登壇いただきました。ホッとしました。

続いて贈呈式、プレゼンター出番のタイミング、品物の確認大変でした。結局不足三品は他の関係者が持参しておりました。

いよいよ本日記念講演「思えば叶う」と題して、R I 第 2570 地区パストガバナー高橋福八先生により1時間講演でした。講演時間がすぎました。SAAの憎まれ役の出番です。先生のお話が盛り上がっております。メモ紙のお知らせ、タイミングに苦勞しました。

午前の部最後の両中学校 95 名が参加吹奏楽演奏、プロ4名奏者の演奏会に拍手の鳴り止まぬ会場となりました。

食事は、表の駐車場に大きなテントを準備し、本日の天気にも恵まれ、宇都宮ジャズバンドの演奏のなか、来賓の方も一緒になりアルコール・弁当を美味しくいただきました。

午後の部は、13時50分より新世代等、ガバナーエレクト比企達男、次期関係ホストクラブ陽東RC実行委員長挨拶でした。

次に、各会員が一番楽しみにしておりましたガバナー補佐・各クラブ紹介、全50クラブ最後迄残っていただきました。

今回の一番大変な大事な各種表彰です。各表彰品と表彰者の確認21表彰でした。司会者は読み上げるだけ、私は、表彰品の確認、カブスカウトの出番のタイミング、司会者より表彰者を確認してほしいとの連絡あり、しかし、私一人では無理、表彰者の面識ある人、この時、私の片腕になって下さったのが、会長一度、幹事三度の実績ある茂木会員の力強いお手伝いのおかげでスムーズに進行できました。

結びに、各関係の皆様心温まる力添えをいただき、特に第6グループの栃木・栃木西・栃木南クラブの皆さんのお手伝い、ご協力ありがとうございました。

最後に、壬生クラブ少数会員でも、ガバナーを輩出し実行可能を、良い見本となり、今後第2550地区の参考となりましたら、ありがたいです。

マルチプル・ポールハリス・フェロー

秋山 欣治 佐野 2回	松本 幸三 壬生 3回	皆藤 美實 宇都宮東 6回	高野 藤房 宇都宮東 2回
笠原 泰 佐野 2回	茂藤 正明 壬生 1回	川村 寿文 宇都宮東 2回	太城 敏之 宇都宮東 2回
納富 正弘 佐野 1回	岩崎 功一 栃木 西 6回	小林 敬治 宇都宮東 2回	坂本 恒五郎 宇都宮東 4回
岩崎 静江 壬生 1回	酒寄 光男 真岡 西 1回	小林 利延 宇都宮東 4回	田嶋 光男 宇都宮東 3回
黒川 正邦 壬生 2回	旭 英幸 宇都宮東 2回	小菅 庸二 宇都宮東 2回	稲木 義友 宇都宮西 2回
瀬下 龍夫 壬生 2回	飯泉 幸雄 宇都宮東 2回	斉藤 巨匡 宇都宮東 2回	伊東 永峯 宇都宮西 4回
伏木 千枝 壬生 1回	石橋 克己 宇都宮東 2回	末永 義雄 宇都宮東 2回	北村 長榮 宇都宮西 4回

米山功労者

近澤 雅昭 栃木 西	浅場 次男 今市きぬ	田尻 健司 真岡 西	荻原 英美 宇都宮南
木内 裕祐 宇都宮西	倉嶋 弘道 今市きぬ	山口久一郎 真岡 西	塩山 渡 宇都宮南
増山 瑞比古 宇都宮西	渡辺 信夫 今市きぬ	伊藤 巳芳 小山西	板橋 敏雄 足利 東
森 玄房 宇都宮西	渡部 智次 今市きぬ	橋本 亮一 栃木 西	石井 侑男 板
恩田 光憲 宇都宮西	齋藤 英孝 真岡 西	狐塚 育男 栃木 西	高塩 治郎 矢 板
矢吹 清人 宇都宮西	鈴木 定男 真岡 西	中村 和男 栃木 西	和氣 一巳 矢 板
村上 肇 宇都宮西	杉山 勝利 真岡 西	落合 雅雄 栃木 西	八坂 誠 矢 板

第2550地区 新入会員紹介



たかもと かん
高本 寛
(宇都宮RC)

(株)エヌ・ティ・ティ・ドコム 栃木支店長
平成22年9月30日入会
初めてのロータリー入会で
す。よろしくお願ひいたし
ます。



やまざき たかし
山崎 隆
(宇都宮RC)

東日本旅客鉄道(株) 宇都宮駅長
平成22年9月30日入会
会員の皆様と交流を深める
ことを楽しみにしています。
どうぞ宜しくお願い致します。



文庫通信 (278号)

職業奉仕について

- ◎ 「ロータリーの本質は職業奉仕の実践にあり」
上野 操
- ◎ 「職業奉仕のいろは」 深川純一
- ◎ 「東洋の実業倫理とロータリーの職業奉仕」
安平和彦
- ◎ 「近江商人について」 塚崎 純 他

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

■物故会員■ 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



物故
平成22年10月3日
享年75歳

つなしま やす ひろ
綱島 康博 様
(壬生RC)

- ロータリー歴 昭和63年9月16日入会
2000～01年度 会長
1996～97年度 幹事
2010～11年度 地区大会顧問
- 財団・米山記念奨学金などの寄付歴
米山功労賞 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



物故
平成22年10月10日
享年87歳

いしじま きち ぞう
石島 吉造 様
(宇都宮RC)

- ロータリー歴 昭和36年8月25日入会
地区役員 1982～83年度 分区代理
1985～87年度 財団情報並びに推進委員長
当クラブ 1964～65年度 副幹事
1967～68年度 幹事
1976～77年度 副会長
1981～82年度 会長
- 財団・米山記念奨学金などの寄付歴
ロータリー財団 M.PHF ベネファクター
米山記念奨学会 第10回米山功労者 (メジャードナー)

国際ロータリー第2550地区 10月会員増強・出席報告

区分	クラブ名	出席率		会 員 数									
		例会数	今 月	平 均	7月1日	今 月	入 会	退 会	通算増	通算減	増 減	内女性員	
第1グループ	大田原	4	83.34	81.57	39	39	0	0	0	0	0	0	2
	黒磯	4	95.10	96.73	44	42	0	0	0	2	-2	2	
	西那須野	4	94.31	95.69	42	44	0	0	3	1	2	0	
	黒羽	5	96.84	96.89	19	19	0	0	0	0	0	1	
	那須	4	83.93	79.17	14	14	0	0	0	0	0	1	
	塩原	4	70.45	72.38	10	11	0	0	1	0	1	0	
	大田原中央	4	71.00	79.90	23	27	0	0	5	1	4	2	
第2グループ	烏山	4	92.85	92.85	14	14	0	0	0	0	0	1	
	氏家	4	96.43	91.97	24	24	0	0	0	0	0	0	
	矢板	4	76.00	66.64	31	31	0	0	0	0	0	5	
	馬頭小川	4	89.30	92.08	21	21	0	0	0	0	0	0	
	高根沢	4	78.00	73.06	18	18	0	0	0	0	0	0	
第3グループA	宇都宮	4	72.40	74.85	92	94	2	1	4	2	2	0	
	宇都宮西	4	87.21	88.24	66	70	0	0	4	0	4	0	
	宇都宮北	4	85.55	82.86	49	49	0	0	0	0	0	0	
	宇都宮90	3	91.92	88.75	39	39	0	0	0	0	0	5	
	宇都宮陽北	4	73.44	77.30	35	35	0	0	0	0	0	4	
第3グループB	宇都宮東	4	97.13	93.93	95	96	0	0	2	1	1	0	
	宇都宮南	4	77.63	82.70	51	51	0	0	0	0	0	0	
	宇都宮陽東	4	72.00	69.28	44	46	0	0	2	0	2	0	
	宇都宮陽南	4	0.00	86.18	20	20	0	0	0	0	0	3	
第4グループ	真岡	4	94.40	90.48	50	50	0	0	1	1	0	0	
	益子	3	93.40	91.80	29	31	0	0	2	0	2	0	
	真岡西	4	97.44	95.29	40	40	0	0	0	0	0	6	
	しもつけ	4	88.28	92.81	33	32	0	0	0	1	-1	8	
第5グループ	小山	4	97.40	97.48	39	39	0	0	0	0	0	0	
	小山南	4	96.15	94.46	18	20	1	0	2	0	2	2	
	小山東	5	92.73	93.96	33	33	0	0	0	0	0	0	
	小山北	4	70.08	80.86	20	22	1	0	2	0	2	0	
	小山中央	3	84.70	84.20	24	24	0	0	0	0	0	1	
第6グループ	栃木	4	79.25	80.71	41	41	0	0	0	0	0	0	
	栃木西	4	93.06	85.59	35	36	0	0	1	0	1	0	
	壬生	3	100.00	94.38	21	20	0	1	0	1	-1	3	
	栃木南	4	88.20	89.65	31	31	0	0	0	0	0	5	
第7グループ	日光	4	78.01	71.69	24	24	0	0	0	0	0	5	
	鹿沼	4	72.72	79.99	66	66	0	0	0	0	0	1	
	今市	4	90.48	91.00	41	42	0	0	1	0	1	0	
	鹿沼東	4	95.78	94.33	43	45	0	0	2	0	2	3	
	栗野西方	5	81.20	82.94	14	14	0	0	0	0	0	1	
	鹿沼中央	4	84.26	87.04	27	27	0	0	0	0	0	2	
第8グループ	今市きぬ	4	89.28	93.08	28	28	0	0	0	0	0	0	
	足利	4	70.59	74.50	40	39	0	0	1	2	-1	0	
	足利東	3	76.70	80.53	55	59	0	0	4	0	4	8	
	足利西	4	78.83	75.94	13	13	0	0	0	0	0	0	
第9グループ	足利わたらせ	4	94.65	93.98	28	28	0	0	0	0	0	0	
	佐野	3	90.76	92.53	58	58	0	0	0	0	0	0	
	葛生	4	88.80	91.90	38	38	0	0	0	0	0	0	
	田沼	3	88.87	90.48	35	36	0	0	1	0	1	0	
	佐野東	4	84.79	87.99	21	23	0	0	2	0	2	0	
岩舟	4	80.00	89.25	22	22	0	0	0	0	0	1		
50RC		85.89	86.25	1757	1785	4	2	40	12	28	72		